



自ら考え表現する力の育成

平成24・25年の2年間、三鷹の森学園は三鷹市教育研究協力校として学園の小・中9年間の見通しを立て、研究授業に取り組んでまいりました。

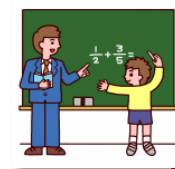
当日は6種類の公開授業の後、研究発表会、そして、特別講演として文科省教科調査官の富山哲也先生からのお話がありました。当日のご来賓、参加者は180名を超え、充実した発表会となりました。

今回、コミュニティー・スクール広報部は記録写真の撮影を担当し、3校のPTAの方々にご協力いただき、公開授業の取材を実施しました。PTAの方には保護者として授業を参観した感想をいただき、下記に掲載しました。どうぞ、ご覧下さい。

言語活動の充実を図った9年間の授業を創る

9年間を見通し、各教科の授業で言語活動を充実させ、「自ら考え表現する力」を効果的に継続し育成していく。

それぞれの考えをビューサークルで表すことで、全員参加の活発なディスカッションができていました。半数の子どもが意見交換後に考えが変わり、子どもたちの柔軟性と発想力に興味深いなと思いました。子どもたちは友だちの考えを柔軟に受け入れ発想を変えたり、膨らませたりしていました。そのようにして視野を広げていくのだらうと思いました。(高山小保護者)



高山小第5学年

短縄によるグループ運動は創意工夫が見られ、結果的に楽しく運動量を増やしていました。またその工夫を具体的に文章にして発表することで、能動的に運動にかかわっていく様子がうかがえ、体を動かす楽しさを感じていることが伝わってきました。言葉での相互理解を図るという授業が体育でも行われているのも興味深かったです。(五小保護者)



五小第5学年

体育

- ▶めあてをもって運動に取り組み、自分の活動を振り返り、学習ノートに書く力。
- ▶動きの工夫をしながら運動する力。
- ▶練習方法の工夫をしながら運動する力。
- ▶作戦を考え、作戦に合った自分のめあてをもち、運動する力。
- ▶技能のポイントを教え合いながら、運動に取り組む力。

真空の中で音は聞こえるかどうか、またその理由を考えるという実験でした。意見の発表では盛んに質問をしあい、音源、振動、それを伝える媒体のことなど、空気や物質の基本知識をいかしてしっかり考えていたと思います。色分けした付箋紙を使った授業の方法にも慣れているせいか、子どもたちが考えや意見の組み立てに戸惑うことなく、スムーズに授業が進められていました。(三中保護者)



三中第1学年

理科

- ▶体験や既習事項をもとに根拠や理由を表現する力。
- ▶事実を図や表・グラフなどを使って分かりやすく記録し、わかったことをまとめる力。
- ▶友だちと関わり合い、自分の考えを修正したり、深めたりしてよりよい考えに練り上げていく。

算数

- ▶根拠を明らかにし、筋道を立てて体系的に考え表現する力。
- ▶言葉や数、式、図、表、グラフなどを適切に用いて、自分の考えを表現したり、伝え合ったりする力。

関数の導入で「不思議な時計」という教材を使った授業でした。時刻当てクイズをするのですが、最初さっぱりわからなくてちょっと手品をみているようなそんな感じでした。どんどん発言する子どももいるなか、わかっているけど積極的ではない子どもには先生が声をかけ発言のきっかけを与えていました。どの子どもの発言も丁寧に聞く先生の姿勢や子どもの眩きにも「いいこと言ってるよ」と取り上げる先生の姿勢から発言しやすい雰囲気だと感じました。(高山小保護者)



高山小第4学年

道徳

- ▶ねらいとする道徳的な価値に対して、他者との違いを理解し、共感したり比較したりすることができる力。
- ▶主人公の見方や思いに立ち、自己の経験と重ねて道徳的課題を探究する力。
- ▶人間としてのよりよい生き方、在り方を判断し、表現することができる力。



三中第2学年

長友選手の中学校時代の話に子どもたちは関心を持って取り組んでいました。グループでの意見交換後の発表では、「どの子の意見もそれぞれよかった」「自分と違う意見に共感した」と話す生徒がいて、自分の思いを伝える力、人の話を理解する力が備わってきていると感じました。(三中保護者)



国語

- ▶身のまわりのできごとや課題に対して主体的に疑問をもったり考えたりしようとする思考力。
- ▶伝えたいという言語活動を通して、自己の思いや考えを広げたり深めたりしようとする思考力。
- ▶考えたり感じたりしたことについて、相手意識を持ち、表現効果を工夫して文章などにまとめようとする表現力。
- ▶自己の考えの根拠となる経験や具体例をあげて述べるなど、説得力のある叙述の仕方を工夫しようとする表現力。

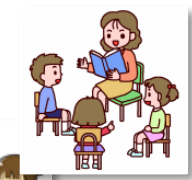
英語

- ▶物事に対して、自分の考えや思いをどのような英語で紡ぐかを考える力。
- ▶自分の考えや思いを間違いを恐れずに表現する力。
- ▶伝え合う言語活動を通して、他者の考えや思いを推し量り理解する力。

歌や体操、カスタネットを取り入れ子どもたちが楽しみながらリズムに合わせて自然と英語を学べるように工夫されていると感じました。自分で考え自分の意見を大きな声でハッキリと伝え、活発に授業に取り組んでいました。(五小保護者)



五小第3学年



三鷹の森学園「自ら考え表現する力の育成」ポイント

- ◎各教科の「自ら表現する力」を育てるための言語活動一覧表を作成し、全職員が9年間の見通しをもって授業を工夫。
- ◎児童、生徒に「考えなくなる」「考えを表現しなくなる」「お互いの考えを交流し深めあう」工夫を凝らした授業づくり。
- ◎児童、生徒自身の考えを引き出す問いかけや各教科の指導内容、特性にあった言葉を使い表現する方法、そのための教材の開発。



11月14日当日に公開授業はありませんでしたが、教育支援も二年間の研究を行いました。